

明野小学校学校だより

# あけの

伊勢市立明野小学校

令和2年6月12日

発行人 岡村 昭

## 通常授業再開から2週間がたちました

～学校の新しい生活様式を～

6/1から通常授業が再開され、学校に活気が戻ってきました。子どもたちは元気です。臨時休業の日々のことを思うと、「これからいよいよ今年度が本格的に始まるぞ」「良かったな」という気持ちで学校生活を送っている様子がうかがえます。しかし、新型コロナウイルスは完全に収束したわけではなく、これからは「地域の感染レベルの状況に応じて柔軟に対応」しながら、「学校教育活動を継続」しつつ、「児童及び教職員の行動変容を徹底していく」ことが必要です。

本校でも、学校の新しい生活様式への移行として、感染症対策のために3つのポイントを踏まえて取り組みを行っています。

### 1 感染源を絶つこと

- ・発熱等の風邪の症状がある場合には、児童も教職員も、自宅で休養することを徹底します。
- ・毎日検温健康観察等を行い、児童の健康状態を把握します。

### 2 感染経路を絶つこと

- ・手洗い、咳エチケット、消毒を徹底します。
- ・手洗いは、6つのタイミングを意識して取り組ませます。(6つのタイミング⇒①外から教室に入る時、②咳やくしゃみ・鼻をかんだとき、③給食の前後、④掃除の後、⑤トイレの後、⑥共有のものを触ったとき)

### 3 抵抗力を高めること

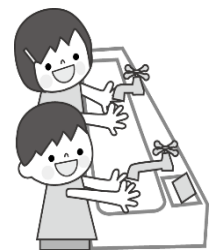
- ・免疫力を高めるため、「十分な睡眠」「適度な運動」「バランスのとれた食事」を心がけるよう指導します。

また、感染リスクへの対応として3つの密（密閉・密集・密接）をできるかぎり解消するように以下のことに取り組んでいます。

- 1 換気の悪い密閉空間をつくらないために

【保健委員さんが次のような健康啓発放送をしてくれています】

- ◇手洗いはこまめにしましょう。
- ◇友達とくっつかないようにしてください。少しはなれておしゃべりをしたり、遊んだりしてください。
- ◇マスクをつけて苦しくなったからマスクをとってやすみましょう。



- 教室では、可能な限り常時、2方向の窓を同時に開けます。
- 2 多数が集まる密集場所をつくらないために
    - 座席を離して、できる限り身体的距離を確保します。
  - 3 間近で会話や発声をする密接場面を作らないために
    - 基本的に常時マスクを着用させます。ただし、次のような場合は、マスクを外します。
      - ① 体育の時間。(児童が着用を希望する場合は着用可です。また、先生はマスクを着用して指導しますが、暑い日に自らの身体へのリスクがあると判断する場合や指導のために自らが運動を行う場合は、不必要な会話や発声を行わず、児童との距離を2m以上離れた上で、マスクを外して指導することがあります。)
      - ② 気温・湿度が高い時、つけていて苦しさをを感じる時。(暑い時は周囲の人との距離をとった上でマスクを外す。苦しさがなくなり、人と会話をするときは、また着用する。このことを基本として、登下校や休み時間は、児童が自分で判断してマスクの着脱ができるように指導します。必要があれば「今日は暑い日です。外で遊んでいる人は時々マスクを外して休憩しましょう」等の放送を入れます。)



換気しよう



マスクしよう

さらに、感染防止対策の他に、児童一人ひとりの心のケアを5/18より継続して行っています。声かけや面談、日記指導等、いろいろな手段を使って児童の心の状態を把握することに努めています。ご家庭で気になるようなことがあれば、すぐに学校までご連絡いただくとありがたいです。

以上、現在学校で行っている「新しい学校生活様式」の一端を紹介させていただきましたが、これらのことは、児童の日常を観察しながら定期的に振り返り・評価を行い、改善を加えていきたいと考えています。

## 体験活動～～食で育む～～

5月末に、5年生がカボチャの受粉作業を行いました。雄花の花粉が雌花のめしべにつくと実が育つということを学びながらの作業です。いつもお世話になっている橋爪さんから「普段はミツバチが受粉をしてくれます。」「受粉が出来ないと小さい実のまま落ちてしまいます。」といったお話も聞かせていただき、いい体験ができました。



この他にも、2年生の玉ねぎ収穫や6年生のジャガイモ収穫も行いました。校舎横の学級園にもいろいろな花や作物が育っています。各学年で世話や観察を続け、たくさんの花を咲かせたりたくさん収穫ができたりすることが楽しみですね。